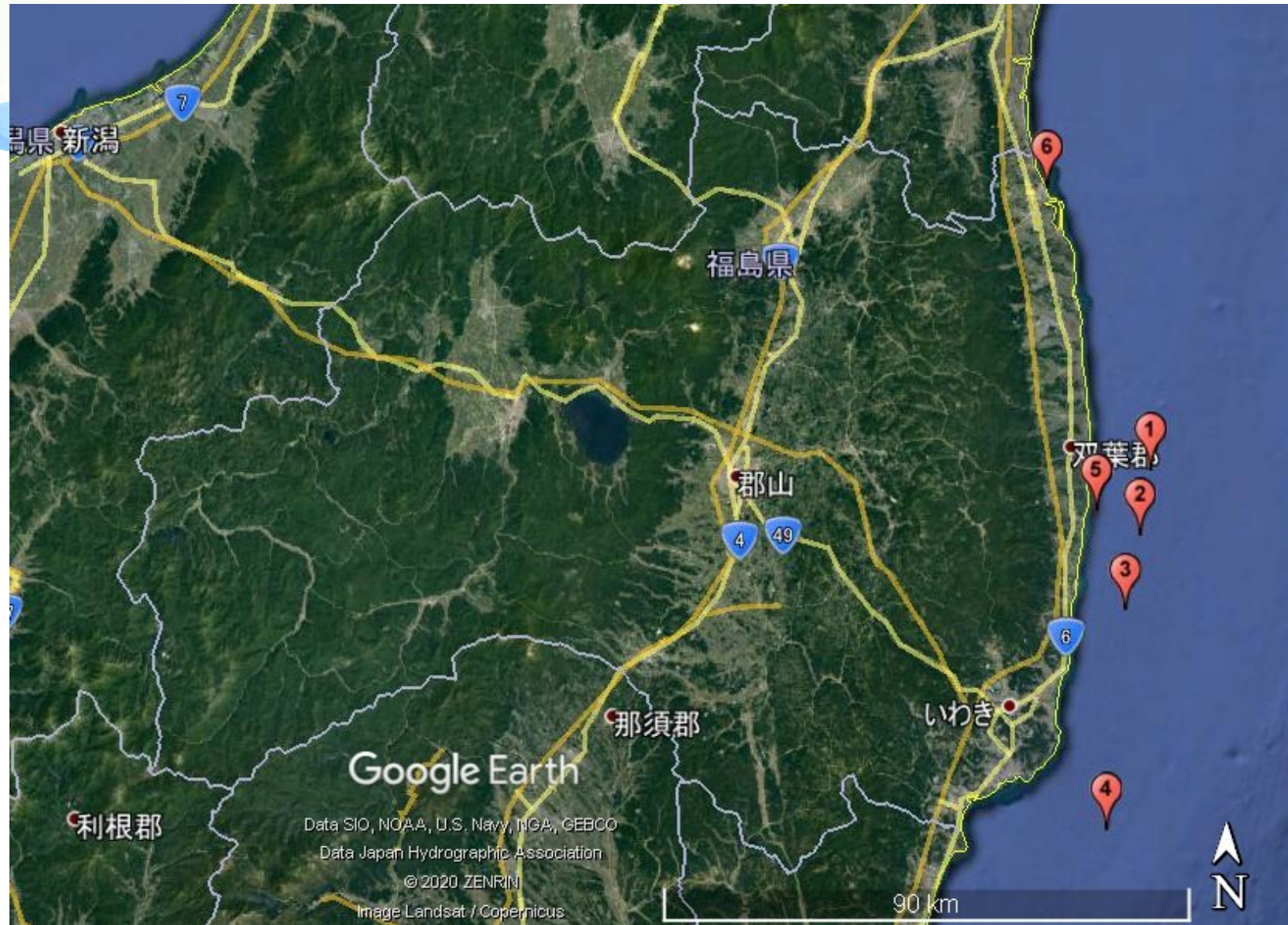


海水採取地点



福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域で試料の採取をしています。
※1.5km以内は東京電力の敷地となっています

海水採取地点



- ① 福島第一原発沖
- ② 福島第二原発沖
- ③ 双葉郡広野沖
- ④ いわき市小名浜沖
- ⑤ 富岡港
- ⑥ 相馬港

海水の測定方法について

海水のセシウムとストロンチウム90の測定には、採取した海水をろ紙でろ過した海水を試料として使います。しかし、海水をろ過することにより、細かい砂や肉眼では確認できない小さな生きものは、ろ紙に吸着され、測定する海水部分に含まれないようになってしまいます。そのため、それらの浮遊物(砂や生き物)に含まれる放射性物質の測定値を知ることはできません。

そこで、たちね では、日常の中の海水とはどういう状態のものか？を考えました。その結果、細かい砂や生き物も含めた海の水 全体が海水なのではないかという結論に至りました。したがって、たちねでは、たちね以外の分析機関で測定するのと同じく、ろ過した海水の測定を行うと同時に、海水の中に浮遊している 砂や生き物の測定も行なっています。

海水の測定結果と浮遊物(砂や生き物)の測定結果は、それぞれに項目を分けて設けています。浮遊物の測定値は、その地点の1Lの海水中に含まれる浮遊物の放射性物質の濃度となります。

第15回 2020年4月6日 【相馬港・富岡港】

【海水 測定結果】	海水 表層		海水 表層	
サンプリング日	2020/4/6		2020/4/6	
サンプリング場所	相馬港		富岡港	
	福島県相馬市原釜字		福島県双葉郡富岡町	
	測定値	検出下限値	測定値	検出下限値
セシウム137 (Bq/L)	0.004±0.0005	0.001	0.019±0.0007	0.0009
セシウム134	ND	0.001	0.001±0.0005	0.001
自由水トリチウム (Bq/L)	ND	0.14	ND	0.14
ストロンチウム90 (Bq/L)	0.0011±0.0004	0.0006	0.0017±0.0005	0.0007

※ セシウム137、セシウム134は、ゲルマニウム半導体検出器で測定→測定機器：米国ORTEC社製 GEM型 相対効率35％です。
 ※ ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。